

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

令和元年度

施設名	新潟市母子生活支援施設さつき荘		
管理者名	社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会	指定期間	平成31年4月1日 ~ 令和6年3月31日
担当課	こども未来部こども家庭課		
所在地	新潟市江南区		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市母子生活支援施設設置条例		
施設概要	敷地面積 1968.63㎡ 建築面積 433.68㎡ 延床面積 1077.69㎡ 建物・構造・主な施設内容 鉄筋コンクリート3階建て 居室 18室 共有部分 集会室、遊戯室、静養室、会議室		

施設設置目的
配偶者のない女子又はこれに準ずる事情にある女子及びその者の監護すべき児童を入所させて、これらの者を保護するとともに、これらの者の自立の促進のためにその生活を支援し、併せて退所した者について相談その他の援助を行う。
管理・運営に関する基本理念、方針等
<p>子育てが困難な状況にある母子世帯や事実上の母子世帯の母親とその子どもを入所させて保護するとともに、様々な支援を通してその自立を促進する。</p> <p>母子はDVはじめ、多くの課題を抱えており、長期かつ総合的な支援を必要としている。母子の立場を尊重して信頼関係を構築し、ともに課題を解決する視点を持って支援を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 児童福祉法に基づく施設として、「子どもの最善の利益」を念頭に支援を行う。 (2) 母子の希望や意志を尊重し、あたたかく、寄り添う立場で支援する。 (3) 母子が共に生活できる施設の特徴を生かし、生活に密着した支援を行う。 (4) 母子の退所後の地域での生活も含めた息の長い支援を行う。 (5) 様々なニーズに対応するため、職員のスキルを向上させるとともにチームとして統一した支援を行う。 (6) 入所者が心から安心でき、安全に暮らせるようマニュアル、環境を整える。 (7) 関係機関との連携を重視し、協働して支援の充実を図る。 (8) 入所者、及び第三者による評価を運営に生かす。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	自立支援計画の策定	母親と子どもの一人一人の自立支援計画策定率100%	策定率100%	B	母子それぞれの自立支援計画を策定することで、入所者の状況に応じた適切な支援につなげている
	利用者満足度	施設が行う支援について、説明を通じ母親と子どもそれぞれが主体的に選択できるように支援している。	「生活のしおり」に支援メニューを記載し、主体性・個別性を重んじて支援している。	B	入所者の理解度に応じ、施設内の決まり事や入所者が受けられる支援について、丁寧な説明を行っている
		行事などのプログラムは、母親や子どもが参画しやすいよう工夫し計画実施している。:参加率60%	入所者の状況に応じ、時間や内容を設定。また、季節の行事も取り入れている。参加率は60%を超えた。	B	目標達成
		施設運営に対する聞き取り調査やアンケートの調査の実施:年1回	第三者評価の利用者アンケートを実施した他、夏休みの行事アンケートや、毎年行っている利用者アンケートなど計4回実施した。	A	利用者の意見を聞く機会を多く設けている
	苦情・要望に対する対応	苦情解決の仕組みを確立し機能させている。苦情対応の第三者委員配置:2人	法人で2名の第三者委員を配置。苦情受付マニュアルを整備。意見箱の設置・周知。	B	適正に配置している
緊急時の適切な対応	災害、火災、不審者などを想定した避難訓練の実施:月1回	災害・火災…毎月1回 不審者侵入…1回 地域合同防災…1回	A	地域の防災訓練参加など緊急時の対応について適正に訓練している	
財 務	管理運営経費の縮減	入札、見積り合わせなど、管理的経費縮減に努力すること	2社以上の見積り合わせ職員による修繕寄贈品、寄付金、招待事業の活用。	B	運営費の縮減に努めている
業 務	自立支援計画の実施	母親と子どもの一人一人の自立支援計画に基づく支援の実施状況を記録している。	支援は処遇記録に入力。職員会議で進捗確認、検討し、記録に残している。	B	支援の記録作成及び計画の進捗確認を適正に行っている
	緊急時の体制整備と対応	緊急時対応マニュアルの整備と研修:年1回の見直し、職員研修	年1回全職員で見直し、改訂している。毎月の避難訓練はマニュアルに沿って実施し、研修となっている。	B	適正に研修と見直しを行っている
	個人情報保護の徹底	個人情報保護に関する内部研修:年1回実施	法人内研修に施設長が出席し、伝達研修として内部研修を実施。	B	適正に研修を行っている
	関係機関との連携	福祉事務所や児童相談所などの関係機関との定期的な連携:年10回以上	ケース会議、要対協議他関係機関との連携は10回を超えた。	B	関係機関との連携に努めている
	地域社会への参加・交流促進	ボランティアの受け入れに対する体制整備:年間受入人数36人	ボランティア受入マニュアルを整備 受入延べ人数 111名	A	ボランティアの受け入れ体制を整え、多くのボランティアの受け入れを行っている
	支援の継続性	退所後、安定した生活を送れるよう支援を行っている。	退所後支援計画を策定。退所者行事として同窓会を行った。アフターケア443件	A	退所後の支援について、行事の案内や寄贈物品の配布案内を送付するなど、積極的に実施している
	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	業務仕様書の遵守に努めた。	B	仕様書の遵守に努めている
人 材	配置人員の充足	施設運営最低基準による職員配置の遵守	施設運営最低基準を満たしている。 保育士1名配置	B	適正に配置している
	配置人員の資質向上	計画的な実務外部研修実施:1人年2回以上	施設外研修に1人2回以上参加した。	B	目標達成
		施設内、市母子生活支援施設合同、関係機関との内部研修の実施:年1回以上	防災研修、コンプライアンス研修等施設内研修を4回行った。	A	目標より多く研修を実施し、資質向上に努めている

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

- ・入所施設だからこそできる生活スキルの向上やよりよい習慣作りのための具体的な支援を行っている。
- ・DV被害からの避難者が多いことから、所轄の警察署と密に連携し、入所者の安全と施設の防犯に努めている。
- ・退所者支援として「さつき荘同窓会」を開催し近況や新たな課題を把握し、退所後も相談しやすい環境作りに努めた。

所管課による総合評価(所見)

入所者の状況は様々なるも、関係機関との情報共有、支援の検討を積極的に行い、自立に向けた具体的な支援を行っている。
「さつき荘同窓会」など、退所後も継続的支援を行っている。
学生ボランティアを多数受け入れ、入所児の見守りや学習支援など、支援の充実につなげている。
上記のことから、総合的に指定管理者として優良と判断する。